

サラリーマンアンケート調査結果

愛媛銀行 ひめぎん情報センター

【調査対象】 愛媛県内在住のサラリーマン 970 人（公務員含む）
 【有効回答率】 53.2%（516 人）
 【調査時期】 2017 年 1 月下旬
 【調査方法】 愛媛県内支店にてお客様に配布、無記名、郵送返却

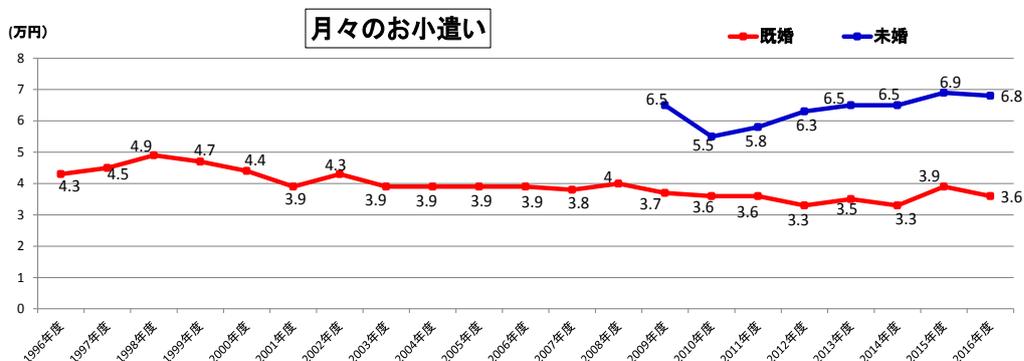
-----回答者の属性-----

【平均年齢】 40.3 歳
 【性別】 男性 58.5% 女性 40.7% 無回答 0.8%
 【未既婚別】 既婚 62.4 % 未婚 35.5% 無回答 2.1%
 【就業形態】 正社員 75.0% 非正社員 22.3% 無回答 2.7%
 【職種】 会社員 78.7% 公務員 10.5 % その他 4.7% 無回答 6.1%
 【平均年収】 全体 558 万 7,000 円 既婚（世帯収入）695 万 2,000 円 未婚 326 万 4,000 円

1. 小遣いについて ①月々の小遣い

平均 4 万 7,000 円 (前回比▲1,000 円)

既婚 3 万 6,000 円 (同▲3,000 円) 未婚 6 万 8,000 円 (同▲1,000 円)



②1 年前と比べた 小遣い額の増減

「増えた」 4.3% 「変化なし」 84.9% 「減った」 7.9%

「増えた」人の理由としては、「昇格」や「年収の増加」、「就職」

「減った」人の理由としては、「年収の減少」や「残業の減少」、「転職」、「子どもの教育費」などを挙げている人が多かった。

③小遣いの使い道 (複数回答)

	第1位	第2位	第3位
全体	食事・喫茶 63.0%	趣味・娯楽費 57.2%	飲み代 49.6%
既婚	食事・喫茶 59.0%	趣味・娯楽費 50.3%	飲み代 47.5%
未婚	食事・喫茶 70.5%	趣味・娯楽費 70.0%	衣服代 56.8%
男性	食事・喫茶 63.9%	飲み代 63.3%	趣味・娯楽費 58.9%
女性	衣服代 65.7%	食事・喫茶 61.4%	趣味・娯楽費 54.8%

全体では「食事・喫茶」が最も多く、6割以上を占めている。

「飲み代」が前回より 4.7 ポイント減少し、第2位から第3位へ。

2. 昼食について

①昼食内容

	全体	既婚	未婚
自宅から持参した弁当	41.3%	44.4%	36.1%
コンビニ等で購入	21.1%	15.5%	29.5%
外食（喫茶店・食堂）	13.6%	15.5%	10.4%
社内食堂	8.3%	7.8%	9.8%
仕出し・宅配弁当	5.6%	5.6%	6.0%
自宅で食べる	6.2%	7.5%	4.4%
昼食抜き	3.9%	3.7%	3.8%
1日当りの平均昼食代	510円	519円	493円

全体では「自宅から持参した弁当」が最も多く4割を占めている。
既婚者では「自宅から持参した弁当」前回より3.9ポイント増加。
全体の平均昼食代は510円で前回（511円）と同様の金額。

②昼食の理由 （複数回答）

	第1位	第2位	第3位
自宅から持参した弁当	昼食代節約のため 74.2%	栄養や健康のため 29.6%	外出ができないため 13.6%
コンビニ等で購入	昼食時間が不規則なため 42.2%	昼食代節約のため 11.9% 外出ができないため 11.9%	
外食（喫茶店・食堂）	気分転換 42.9%	昼食時間が不規則なため 31.4%	美味しいため 18.6%
仕出し・宅配弁当	昼食代節約のため 31.0%	栄養や健康のため 17.2%	昼食時間が不規則なため 13.8%
社内食堂	栄養や健康のため 34.9%	昼食代節約のため 32.6%	外出ができないため 20.9%
自宅で食べる	昼食代節約のため 46.9%	気分転換 18.8%	栄養や健康のため 12.5%
昼食抜き	昼食時間が不規則なため 50.0%	昼食代節約のため 25.0%	その他 15.0%

「自宅から持参した弁当」の人は「昼食代節約のため」（前回比+4.9ポイント）が最も多く、次いで「栄養や健康のため」（同+7.8ポイント）が多い。「昼食抜き」の「その他」の理由としては「時間がない」と回答している人が多かった。

3. 貯蓄について

①現在の貯蓄額

平均 501万1,000円

既婚 606万8,000円（世帯合計）

未婚 306万1,000円

②1年前と比べた 貯蓄額の増減

「増えた」 32.0% 「変化なし」 49.4% 「減った」 15.0%

「増えた」人の理由は「定期的な貯蓄」、「節約・儉約」
「減った」人の理由は「生活費の補填」、「子どもの教育費」、「結婚費用」
などが多く挙がっていた。

【新設項目】 ③貯蓄の方法

	全体	定額貯蓄額（平均）	ボーナス時（平均）
定額貯蓄	36.2%	4万1,000円/月	—
定額貯蓄かつボーナス時にも貯蓄	18.6%	4万5,000円/月	16万4,000円/年
ボーナス時のみ貯蓄	2.7%	—	26万9,000円/年
定額ではなく余った分を貯蓄	37.6%	—	—

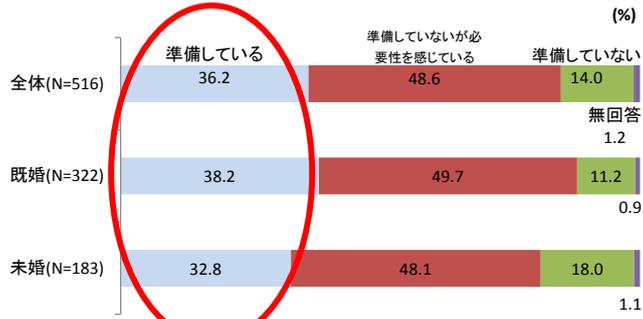
全体では「定額貯蓄」と「定額貯蓄かつボーナス時にも貯蓄」を合わせると半数（54.8%）以上を占めており、貯蓄意識の高い人が多い。

④貯蓄の目的
(複数回答)

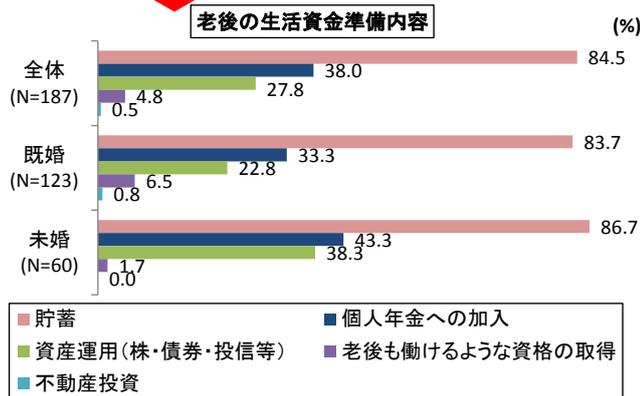
	全体	既婚	未婚
病気や不測の事態に備えて	41.5%	39.4%	46.5%
老後に備えて	40.5%	43.5%	35.5%
子どもの教育資金	35.5%	54.7%	2.2%
旅行・レジャー資金	28.7%	23.3%	38.8%
自動車の購入資金	12.4%	10.3%	16.9%
冠婚葬祭費	9.1%	8.1%	10.9%

全体では「病気や不測の事態に備えて」が最も多く4割以上を占めており、前回第3位から第1位に上がっている。
特に、未婚者では前回より14.3ポイントの増加、既婚者においても4.1ポイントの増加。

4. 老後について
①老後の生活
資金準備



②資金の準備内容



「準備している」人は全体で3割以上。
未婚者でも「準備している」人が前回より7.1ポイント増加、老後への準備意識が高くなってきている。
準備内容としては、全体で「貯蓄」(+13.5ポイント)が前回より増えている。
未婚者では「資産運用(株・債券・投信等)」が前回より20.4ポイント増加。最近の株価の上昇傾向などが影響していると考えられる。

5. ローンについて
①ローン残高

「ローンあり」30.6% ⇒ **平均ローン残高 1,171万2,000円**

「ローンなし」62.0%

「ローンあり」は前回より3.9ポイントの減少。ローン残高は前回より237.6万円の増加。

【未既婚別】 既婚 「ローンあり」 39.4% ⇒ 平均ローン残高 1371万2,000円
未婚 「ローンあり」 14.8% ⇒ 平均ローン残高 243万9,000円

ローンがある割合は、既婚者(前回比▲3.2ポイント)、未婚者(同▲1ポイント)ともに前回より減少。堅実的な人が多くなっていることがうかがえる。

②ローンの内容
(複数回答)

	全体
住宅ローン	65.8%
自動車ローン	31.6%
教育ローン	13.3%
カードローン	7.6%

全体では「住宅ローン」が最も多く6割以上を占めており、前回より6.5ポイントの増加。「自動車ローン」も前回より9.5ポイントの増加。

6. 賃金とボーナス
について

①今年度(2016年度)の賃金アップ

「賃金アップあり」 26.9% ⇒ 月平均 4,000円のアップ
「賃金アップなし」 69.6%

②来年度(2017年度)の賃金アップ
予想

「業績が良くなっているのであると思う」 9.7%
「変化なし」 76.9%
「業績が悪くなっているのではないと思う」 10.1%

2017年度の賃金アップに関しては現状のままだと思っている人が多い。

③2016年の冬の
ボーナス支給額と
支給月数

冬のボーナス支給 「あり」 65.9% ⇒ 平均 41万5,000円
支給月数 1.8か月
「なし」 23.1%

④2016年冬の
ボーナスの使い道
(複数回答)

	全 体		既 婚		未 婚	
	割合	金額(平均)	割合	金額(平均)	割合	金額(平均)
貯蓄	64.7%	21.4万円	59.9%	23.8万円	70.8%	18.6万円
買い物	38.5%	9.1万円	31.9%	9.4万円	47.7%	8.9万円
生活費の補填	37.6%	15.1万円	45.4%	17.8万円	24.6%	8.3万円
旅行	30.3%	10.8万円	23.2%	12.0万円	41.5%	9.9万円
外食	19.1%	4.3万円	16.9%	4.0万円	22.3%	4.5万円
ローン返済	16.2%	18.6万円	24.6%	18.9万円	2.3%	13.3万円
教育費	13.5%	17.6万円	20.8%	18.8万円	1.5%	2.3万円
その他	16.8%	15.9万円	15.5%	18.9万円	18.5%	11.6万円

全体では「貯蓄」が最も多く6割以上を占めており、前回より3.7ポイント増加。「旅行」(前回比+6.6ポイント)、「外食」(同+3ポイント)と、それぞれ前回より増加。「その他」の使い道としては「車検代」、「交際費」、「住宅のリフォーム代」など。

【まとめ】

- 現在の貯蓄額が全体で501万1,000円
 - 定額貯蓄(ボーナス時にも貯蓄含む)している人が半数以上(54.8%)
 - 2016年の冬のボーナスの使い道で「貯蓄」が6割以上を占め、第1位。
 - ローンありの割合が前回より減少。
- ⇒堅実的で貯蓄意識の高い人が多くなっている。

- 貯蓄の目的で「病気や不測の事態に備えて」が全体で4割以上、前回第3位から第1へ。
 - 小遣いの使い道で「飲み代」が減少。
 - 昼食で「自宅から持参した弁当」にする理由として「栄養や健康のため」が前回より増加。
- ⇒健康に気を使う人が多くなっている。最近では若い世代でも病気になる人が増えており、その不安からか病気や不測の事態に備えて貯蓄する人が多くなっている。